

研究に関する公開情報

公立陶生病院 では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけましたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] Diagnostic Stewardship の観点から市中病院 ER における血液培養を再考する

[当院研究責任者] 部署名 感染制御部 氏名 梅村 拓巳

[研究の背景] 救急外来での血液培養検査は重要ですが、現在は「念のため」の過剰な実施により、不要な点滴や入院期間の延長、現場の負担増が課題となっています。本研究では、患者さんの病状に合わせて「本当に検査が必要なタイミング」を的確に見極める基準を作ります。これにより、お一人おひとりに最適な「無駄のない精密な検査と治療」を提供できる救急体制の確立を目指します。

[研究の目的] 現在、救急外来では発熱などの症状がある方に広く「血液培養（血液中の菌を調べる検査）」を行っています。しかし、全員に画一的に検査を行うことは、結果が出るまでの不要な点滴や入院期間の延長、医療現場の過度な負担につながる懸念があります。本研究では、過去 5 年間のデータを分析し、本当に検査が必要な患者さんを的確に見極める「新しい判断基準」を作ることが目的としています。この研究を通じて、お一人おひとりの病状に合わせた「真に価値のある精密な検査」を選択できる体制を整え、より安全で適切な治療の提供を目指します。さらに発展的には、AI を用いて診療録情報の構造化を通じて陽性例・陰性例を統合的に評価し、血液培養採取の最適化戦略（Diagnostic Stewardship）の構築につなげることを目指す。

■ 研究の対象となる方

2020 年 1 月から 2025 年 12 月に公立陶生病院に入院された結核患者さんで 65 歳以上の方。軽快されて退院された方は退院後の保健所によるフォローアップを受けている方。

■ ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、症状、採血検査、生活環境、治療内容、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■ 研究期間 実施許可から 2028 年 12 月末まで

■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101 FAX : 0561-82-9139

研究代表者 感染制御部 梅村 拓巳